

# 第1回 射水市観光振興計画策定委員会

日時 平成29年10月23日(月)

午後3時から

場所 射水市役所本庁舎 304議室

## 1 開 会

## 2 市長あいさつ

## 3 委員紹介

## 4 射水市観光振興計画策定委員会について

資料1

## 5 議 事

### (1) 委員長及び副委員長の選出

### (2) 説明及び協議事項

① 射水市観光・ブランド戦略プランの進捗状況について 資料2

② 射水市観光客動態調査等アンケート調査の結果について 資料3

③ (仮称)射水市観光振興計画(骨子案)について 資料4・5

### (3) その他

## 6 閉 会

## 射水市観光振興計画策定委員会の設置について

### 1. 目的

平成24年3月に策定した「射水市観光・ブランド戦略プラン」では、「食・水・祭」を基本方針とし、「地域イメージの向上」と「交流人口の増加」を図ってきた。

その後、北陸新幹線開業をはじめ、新湊大橋の開通、数々のドラマや映画のロケーションに活用されるなど、射水市の観光を取り巻く環境は大きく変化している。

そのため、平成24年に策定した射水市観光・ブランド戦略プランを基本とし、増加する訪日外国人観光客の受け入れやますます多様化する観光ニーズに対して「射水市らしい」対応を図っていく必要がある。

このことから、射水市が持つ自然特性や立地特性を活かし、定住・交流人口の拡大はもちろん、観光消費の増大等を図るため、ブランディングとマーケティングの視点を活用しながら、戦略的かつ実益的な射水市観光振興計画を策定する。

### 2. 計画の位置付け

本市の最上位計画である「第2次射水市総合計画」（計画期間平成26年度～平成35年度）や「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間平成27年度～平成31年度）をはじめ、国や県の関連計画との整合性を図りながら、本市の観光振興に関する内容を計画的かつ戦略的に推進するための基本目標や施策の方向性、選択と集中による取り組み、計画推進のための役割分担と推進体制を示していく。

### 3. 組織体制

#### ・射水市観光振興計画策定委員会

① 構成 学識関係者、観光団体関係者、経済団体関係者、公共交通関係者、まちづくり関係者

② 役割 射水市観光振興計画の策定に関すること

## 射水市観光振興計画策定委員会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 射水市の観光振興等の確立を促し、地域イメージの向上、地域経済の活性化を目的に推進していくため、射水市観光振興計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 観光振興計画の策定に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項。

(組織)

第3条 委員会は、委員11名以内で組織し、学識経験者及び関係団体等の代表者のうちから市長が委嘱する。

2 委員会に、オブザーバーの出席を依頼することができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日から平成30年3月31日までとする。ただし、委員が欠けた場合は補充できるものとし、その任期は前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は委員が互選し、副委員長は委員長が指名する。
- 3 委員長は、委員会を進行する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(委員会)

第6条 委員会は、必要に応じて市長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

(小委員会)

第7条 委員会に、観光振興等に関し、必要な事項を調査研究するため、小委員会を置くことができる。

(事務局)

第8条 委員会の事務を処理するため、事務局を射水市産業経済部港湾・観光課に置く。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が定める。

附 則

この要綱は、平成29年 月 日から施行する

## 射水市観光振興計画策定委員会スケジュール（案）

平成29年10月23日（月）

### 第1回射水市観光振興計画策定委員会

- ・射水市観光・ブランド戦略プランの進捗状況について
- ・射水市観光客動態調査等アンケート調査の結果について
- ・射水市観光振興計画（仮称）骨子（案）について

平成29年11月下旬

### 第2回射水市観光振興計画策定委員会

- ・射水市観光振興計画（仮称）素案について

平成30年1月

### パブリックコメントの実施

- ・射水市観光振興計画（仮称）に対するパブリックコメント

平成30年2月

### 第3回射水市観光振興計画策定委員会

- ・射水市観光振興計画（仮称）について

平成30年3月

射水市観光振興計画（仮称）策定

## ① 射水市観光・ブランド戦略プランの進捗状況について

射水市観光・ブランド戦略プランでは、射水市を象徴する、海や河川・野が育む豊かな食、水辺の景観、市民参加・伝統ある祭りの3つの資源とし、食の資源を中心に、個々の地域資源を確立・連携させ、広い分野に発信することを基本方針に、本プランの目標である「地域イメージの向上」、「交流人口の増加」を達成するための数値目標は、総合計画の成果指標を目標とする。

### 射水ブランドに係る数値目標

地域イメージの向上（地域ブランド調査 魅力度）

731位（平成23年度） ⇒ 500位（平成28年度）

### 観光振興に係る数値目標

交流人口の増加（観光施設、イベント等入込数）

3,238,666人（平成22年） ⇒ 4,000,000人（平成28年）

※観光振興に伴う数値目標については、当初は平成28年の目標数値を3,450,000人としていたが、平成24年11月に4,000,000人に上方修正した。

### ● 年度別数値結果

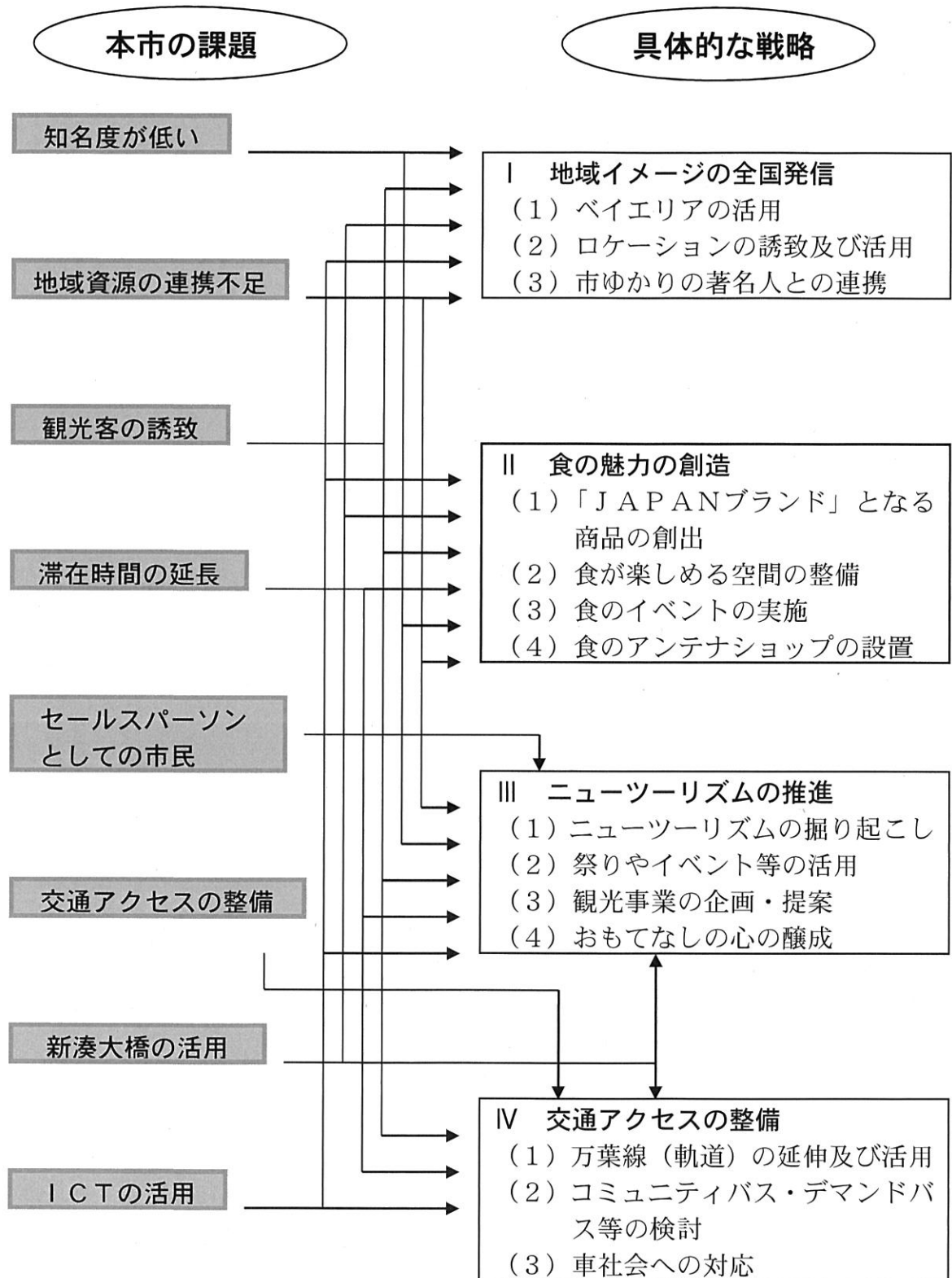
| 年度     | 射水ブランドに係る数値（魅力度） | 観光振興に係る数値目標 |
|--------|------------------|-------------|
| 平成24年度 | 668位             | 3,969,131人  |
| 平成25年度 | 800位             | 3,871,919人  |
| 平成26年度 | 639位             | 3,887,391人  |
| 平成27年度 | 510位（555位）       | 4,104,155人  |
| 平成28年度 | 828位             | 4,184,986人  |

※ 観光振興に係る数値は、当該年度における年ベース（1月から12月まで）とする。

※ H28より回答対象者を20～60代から20～70代に拡大。H27は試験的に実施。

[H27の( )内は回答対象者20～70代時の順位。]

● 本市の課題と具体的な戦略（アクションプラン） 相関図



## Ⅰ 地域イメージの全国発信

### (1) ベイエリアの活用（事業目標：認知度 500位以内）

本市沿岸部は水深1,000メートルを超える富山湾に抱かれ、豊富な魚種が水揚げされる新湊漁港や帆船海王丸、海竜マリリンパーク等、魅力的で訴求力が強く、本市の地域イメージを牽引する多種多様な資源が数多くある。平成24年秋には、念願の新湊大橋が開通し、新たな観光スポットとなっている。

また、昭和レトロな漁村の雰囲気や田園の風景、宿場町として栄えた旧北陸道等、コンパクトなエリアに魅力が凝縮されている。

このようなエリアの歴史的背景を踏まえて景観を保全し、港町としての魅力を高めながら前面に押し出し、富山湾そして、環日本海交易の中心として、全国に向けて地域イメージを発信し、全国的なイベント等の誘致に努め、ベイエリアの賑わい創出を図る。

| 順位              | 平成23年度～平成28年度までの取り組み等   |
|-----------------|---|
| ・平成24年度<br>754位 | 平成23年～<br>・内川十楽の市（NP0水辺のまち新湊）<br>・新湊大橋開通記念イベント  |
| ・平成25年度<br>811位 | 平成24年<br>・あいの風プロムナード開通記念イベント、1周年記念イベントばしふいっくびいなすサンセットディナークルーズ   |
| ・平成26年度<br>743位 | 平成25年<br>・ばしふいっくびいなすワンナイトクルーズ、全国中学校ヨット大会、世界で最も美しい湾クラブ加盟   |
| ・平成27年度<br>670位 | 平成26年<br>・ベイエリアキャッチフレーズ公募・決定、「夢つなぐ きときと射水ベイエリア」、第1回タモリカップ開催、全国豊かな海づくりに大会開催、第1回富山マラソン開催、あいの風プロムナード・内川遊歩道が新日本歩く道紀行100選（湊の今昔の部100選）に選定 |
| ・平成28年度<br>789位 | 平成27年<br>・全国絵本ミュージアム会議開催、全国銀絵サミット in 射水開催、第2回タモリカップ開催、第2回富山マラソン開催   |

(2) ロケーションの誘致及び活用（事業目標：映画、テレビ、CM等の撮影 年間10回以上）

平成23年度に富山県は、映画等の撮影に際しての窓口となるフィルムコミッション※「富山県ロケーションオフィス」を設立するとともに、ロケーションの誘致、受入態勢の充実を図るための連絡機関「富山県ロケーション誘致促進会議」を設置した。

本市は、港町や宿場町、里山の風情、四季折々の食の資源等を有していることから、県関連機関と連携を図りながら、映画、テレビ、CM等のロケーションの誘致に努めた。誘致及び放映後、市民が地域の魅力を再認識するとともに、ロケーション箇所や映像イメージ等を活用した情報発信に努める。

平成23年度～平成28年度までの取り組み等

|       |   |
|-------|---|
| 平成24年 | ・ 脳男、あなたへ 2回  |
| 平成25年 | ・ NHK ラジオ公開収録（海王丸パーク）、インド映画   |
| 平成26年 | ・ NHK ラジオ公開収録（海老江）、映画「仮面ライダードライブ」（爆破シーン）、インド映画、タクシードライバーの推理日誌 36（ドラマ）、ぴったんこカン・カン（テレビ）   |
| 平成27年 | ・ お袋もう一杯（テレビ）、大食い選手権（テレビ）、もしもツアーズ（テレビ）、火曜サブプライズ（テレビ）、月9ドラマ「恋仲」、NHK「鶴瓶の家族に乾杯」（11/30・12/7）、JR東日本CM「大人の休日倶楽部」、映画「真白の恋」、映画「人生の約束」 |
| 平成28年 | ・ 24時間テレビ（ダーツの旅SP）、映画「ナラタージュ」ロケ（H29.10.7～公開中）、映画「人生の約束」第7回ロケーションジャパン大賞、撮影サポート部門 特別賞 受賞  |

※上記以外にも様々なロケが多数有り、商工会、商工会議所、水辺のまち新湊、観光協会等、富山県ロケーションオフィスと連携し、エキストラ確保に動いている。



(3) 市ゆかりの著名人との連携

本市は、芸能・文化・スポーツ等あらゆるジャンルに多くの著名人を輩出している。また、ロケーションの誘致等により、多くの芸能人や映像関係者等が訪れると考えられる。これらの方々に、本市の地域イメージの向上及び情報発信に協力いただくとともに、その情報に共感した新たな本市の応援者の発掘に努める。

| 平成 23 年度～平成 28 年度までの取り組み等    |  |
|------------------------------|--|
| 平成 26 年                      | ・立川志の輔師匠を起用した観光ポスターを作成し、県外で展開。<br>荒川区の銭湯で掲出  |
| 平成 27 年                      | ・長野電鉄 3 駅での P R 展開 (平成 27 年 8 月、平成 28 年 8 月)、いみず P R 大使制度 (観光協会)・・・水越ユカさんが就任し、5 月に東京都<br>庁富山県 P R ブース参加、雷鳥就任 |
| 平成 28 年                      | ・いみず P R 大使に I M Z i p 就任、映画「人生の約束」石橋冠監督に市政功労者表彰を授与  |
| ※この他、県内外で行われる各種物産展・イベント等で展開。 |  |

## II 食の魅力の創造

### (1) 「JAPANブランド」となる商品の創出（事業目標：産品購入意欲度 150位）

ヨーロッパやアジア圏を中心に、日本の安心で安全な農水産物、寿司や会席料理等の日本独自の食文化が注目されている。このことを背景に、関係団体が中心となり、射水＝〇〇と消費者から認知される食の資源を選び出し、ブラッシュアップや組合せにより新たな価値を生み出すとともに、その資源が持つ歴史、文化等の背景もとり込み、グローバルな視点で世界に向け発信する。

そして、事業者は、国・県補助金並びに市補助金等を活用し、その資源を使った新商品や販路開拓等に積極的に取り組み、いわゆる「JAPANブランド」として認められるよう、価値の高い商品を創出し販売する。

| 順位              | 平成23年度～平成28年度までの取り組み等  |
|-----------------|--|
| ・平成24年度<br>195位 | ・射水ブランド商品開発補助実績  |
| ・平成25年度<br>341位 | 平成24年 きららか梨<br>平成25年 いみず井  |
| ・平成26年度<br>506位 | 平成27年 越のわたりがに<br>・水産資源   |
| ・平成27年度<br>362位 | 平成17年～ 近畿大学水産研究所富山実験場研究支援補助<br>いみずマリンバイオテクノロジー研究会補助  |
| ・平成28年度<br>742位 | 平成20年～平成26年 近大・堀岡トラフグPR事業補助<br>平成25年～平成26年 サクラマス養殖事業化試験飼育事業補助<br>平成27年 トラフグ・サクラマスPR事業補助<br>平成28年 サクラマスPR事業補助（いみずサクラマス） |

(2) 食が楽しめる空間の整備（事業目標：空き店舗を活用した新規出店者数 5 事業者以上）

商店街の既存店舗等が連携し、水辺の景観や街並み、文化遺産等と融合した食が楽しめる空間の整備・保存に努め、周遊バスや徒歩で回遊できるエリアを創造する。そして、ICTを活用し、観光施設や店舗等の情報を発信するとともにフリーペーパーを定期的に発行する。

また、住民それぞれの特性を活かしながら、商店街等の空き店舗を活用し、アンテナショップやカフェ等の新規出店が行いやすい環境整備に努める。

| 平成 23 年度～平成 28 年度までの取り組み等   |  |
|---|--|
| ・新規出店   |  |
| 平成 24 年 六角堂オープン   |  |
| 平成 27 年 新港東部 マリーナカフェザンオープン  |  |
| 平成 28 年 LETTER オープン (旧小杉郵便局)、お着替え処 KIPPO オープン (内川沿い)、番屋カフェオープン (渡辺邸)、貴婦人館オープン (海王丸パーク内)、蜻蛉玉 Fe オープン (内川沿い)、ビストロ ボン・グーオープン (古民家) |  |
| ・イベント (荒町商店街・旧北陸道、内川周辺)   |  |
| 平成 14 年～ 旧北陸道アート in 小杉 (荒町商店街、ユニコネルモンド、鏝絵、竹内源造記念館) (平成 29 年度には小杉駅前であらと横丁を開催)  |  |
| 平成 23 年～ 十楽の市 (内川周辺) 土蔵・番屋などを活用   |  |
| 平成 26 年～ 下条川桜まつり  |  |
| 平成 28 年 下条川夏祭り (平成 29 年には下条川みこし祭りとして開催)   |  |
| ・フリーペーパー  |  |
| 平成 25 年～ 市町村タイアップ事業 (富山 3 の旅冊子…秋 内川周辺、春 下条川周辺)  |  |
| 平成 25 年・27 年 るるぶ FREE 秋冬号 (内川周辺食イベント)   |  |
| 平成 27 年 新湊寺社さんぽ、新湊街道さんぽ発刊 (射水商工会議所)   |  |
| 平成 28 年 新湊曳山さんぽ発刊 (射水商工会議所)   |  |
| ・獅子舞競演会 平成 23～28 年 会場をきつとときと市場 (平成 29 年度から富山新港花火大会と統合)  |  |
| ・駐車場整備 旧新湊勤労青少年ホーム跡地に駐車場・トイレ整備  |  |
| ・ICT の活用 おさんぽいみず (新湊、小杉地区情報発信)、さらさらか射水観光 NAVI (観光情報の発信)、FaceBook、ムズムズブログ、ツイッター (観光情報等の発信)                                       |  |

(3) 食のイベントの実施（事業目標：新たな食のイベント事業 3事業以上）

現在実施している食のイベントは、来場者のニーズを反映し、積極的に継続開催するとともに、飲食店と連携した新たな食のイベントの実施ができるように努める。

また、地域資源を活用したB級グルメ※等のイベントの実施についても検討する。

| 平成23年度～平成28年度までの取り組み等 |  |
|-----------------------|--|
| 平成25年                 | ・射水S級グルメ発掘発信事業（イタリアンシェフ山根大助氏による射水産食材を使用した食事会）  |
| 平成26年                 | ・青年会議所「進撃のすりみ」、とやまグルメランド in いみず 9月19日・20日、(B級グルメイベント)<br>ト) 商工会いみず井出店、カニむき選手権（商工会議所） |
| 平成29年                 | ・きときといみず大漁まつり（日本橋とやま館）   |

(4) 食のアンテナショップの設置（事業目標：新幹線駅での本市特産品の取扱 20品以上）

北陸新幹線開業後は、首都圏からのアクセス拠点は新幹線駅にシフトすることから、富山駅、新高岡駅、金沢駅等の構内に、食を中心としたアンテナショップの設置を検討する。

また、事業者は、新幹線駅の特産物等販売ショップで多くの自社製品が販売できるよう努める。

実績なし

### III ニュートゥーリズムの推進

(1) ニュートゥーリズムの掘り起こし(事業目標:ニュートゥーリズム商品 10商品以上)

事業者と観光協会等が中心となり、工場等での生産過程の見学やものづくりを体験する産業観光や体験型観光、海洋資源を活用したブルートゥーリズム、農林業資源を活用したグリーンツーリズム等、地域資源を活用したニュートゥーリズムの創出を図るとともに、受入態勢を整備する。

また、これらの素材を一元化し、インターネットやリーフレット等を活用しPRする。

平成23年度～平成28年度までの取り組み等

- ・屋セリの観光ルート化(屋セリ見学者数の変化:平成24年1,888人⇒平成27年15,069人、平成28年12,681人)
- ・平成26年竹内源造記念館リニューアル 鏝絵体験
- ・平成25年 産業観光補助金制度～(三協立山アルミ、北陸ポートサービス、新湊漁協、クロタニコローポレーション、JF堀岡養殖)
- ・水辺空間着地型商品開発事業(平成24年～)
- ・万葉線フリー&新湊クーポン、平成26年日経ラジオ ムズムズするまち射水へGO(年4回)
- ・新湊観光船とガイド付き内川散策
- ・平成24年おさんぽしんみなと、平成26年おさんぽこすぎ、おさんぽルート、サイクリングルート、スマホを活用した地域の情報発信サイトの構築(おさんぽいみずで統合)
- ・平成24年、25年 堀岡北部漁業協議会(養殖漁業の体験イベント)
- ・平成25年～26年 射水ビューポイント発掘事業・内川さんぽ発刊
- ・平成25年～産業観光ツアー(射水商工会議所)
- ・平成27年～新湊観光船:下条川ルート開設(船体購入補助)

(2) 祭りやイベント等の活用（事業目標：祭り・イベントと商店街との連携事業 5事業以上）

曳山祭りや獅子舞等の伝統的な祭りの練習風景を観光対象として活用します。

また、伝統的な祭りや越中だいまん風まつり等の市民参加型の祭り、新湊カニかに海鮮白えび祭り、ツウインクルナイト等のイベントの前後期間を活用し、商店街、飲食店等と連携した食のフェア等を実施し、単日ではなく期間を通しての交流人口の獲得に努める。

・その他の取り組み 平成28年 ワンコイン笑店街×内川十楽の市

(3) 観光事業の企画・提案（事業目標：旅行会社等とのタイアップ 3事業以上）

事業者と観光協会等が中心となり、観光対象を活用して団体旅行・個人旅行に対応した商品をつくり出し、旅行会社及び越中・飛騨観光圏の観光地域づくりプラットフォームに対して積極的に企画・提案する。

| 平成23年度～平成28年度までの取り組み等  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JTB「とっておき観光情報ナビ」</li> <li>・ 近畿日本ツーリスト「旅の発見」</li> <li>・ クラブツーリズム、阪急交通社、他「新湊寿司組合等と連携したバス誘客」<br/>H27年度 3,254名、H28年度 557名（4～1月）<br/>（上期：下期=1,677:1,577）（上期：下期（10～1月）=209:348）</li> <li>・ 地域旅行会社（地鉄トラベル、新富観光）<br/>着地型商品の共同企画の実施（昼セリ、ロケ地巡り、内川散策など）<br/>H27年度 1,215名、H28年度（上期）314名</li> <li>・ 平成27年～ 富山県西部地区観光協議会「びゅう」タイアップ企画</li> <li>・ 平成28年 観光事業者連絡会設置（観光協会）</li> </ul> |

(4) おもてなしの心の醸成（事業目標：おもてなしの心養成研修参加者 350人以上）

心のこもったおもてなしで交流者を迎えるため、商店街をはじめとした、市民と連携した受入態勢を確立するとともに、飲食店や宿泊施設、交通事業者等の関連事業者及び市民を対象にした研修会等を実施し、接客・対応能力の向上に努める。

また、観光ボランティア等の観光ガイドの養成に努める。

| 平成23年度～平成28年度までの取り組み等                                   |      |     |     |               |
|---|------|-----|-----|---------------|
| ・観光ボランティア おもてなし研修参加実績                                   |      |     |     |               |
|   | 春期研修 | 秋   | 新年  | その他講座等 AED 講座 |
| 平成24年   | 35人  | 36人 | 45人 | 5人            |
| 平成25年   | 39人  | 38人 | 45人 | 12人           |
| 平成26年   | 37人  | 30人 | 41人 | 5人            |
| 平成27年   | 34人  | 35人 | 45人 | 45人           |
| 平成28年   | 38人  | 34人 | 40人 | 13人           |
| のべ人数 657人   |      |     |     |               |
| ※平成28年「その他講座等」の13名については、「観光ボランティア体験講座」に参加した一般参加者の人数を計上。 |      |     |     |               |
| ・平成26年 職員おもてなし研修 参加者 40人（市職員向け研修）                       |      |     |     |               |

## IV 交通アクセスの整備

### (1) 万葉線（軌道）の延伸及び活用（高岡駅及び海王丸パークまでの延伸）

全国的に、低炭素・環境負荷の軽減等の時代ニーズやまちづくりの観点から、軌道の活用が注目されている。将来に向けたエリアの更なる魅力を高めるため、新湊地区の基幹交通である万葉線の新たな活用及び交流者の円滑な移動に努めるとともに、JR富山駅と岩瀬地区を結ぶライトレールとの連結を目指す。北陸新幹線開業時には、高岡駅構内までの乗入れによるJRとのスムーズな連結を図る。

また、新湊大橋の開通を控え、市内最大の観光地「海王丸パーク」への延伸や万葉線の車体のラッピング、観光ガイド、駅名変更等、観光素材としての活用を検討する。

- ・平成24年ドラえもん電車運行（高岡市） 平成30年まで延長
- ・平成26年3月 高岡駅構内まで延伸

### (2) コミュニティバス・デマンドバス等の検討

本市は、コミュニティバスが17路線、デマンドタクシーが一部区域を運行し、公共交通を利用して市内全域を移動することができる。このメリットを活かし、JR小杉駅と海王丸パークを発着点とした観光路線バスを運行する等、生活路線に観光振興の視点を取り入れ、観光客が移動しやすい2次・3次交通の確保に努める。

また、一定のエリアを周遊するデマンドバスや市内の観光地を中心に巡る観光タクシーの導入を検討する。

| 平成23年度～平成28年度までの取り組み等 |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| ・平成24年                | コミュニティバス通常路線 1路線増 計13路線 |
| ・平成25年                | コミュニティバス通常路線 5路線増 計18路線 |
| ・平成27年                | 加越能バス 新高岡駅－海王丸直通バス運行    |
| ・平成28年                | ベイエリア周遊バス試験運行           |



(3) 車社会への対応

東海北陸自動車道の開通後、高速道路の割引等の追い風を受け、観光客の多くは自家用車で本市に來訪している。しかしながら、駐車場が少ないエリアもあることから、観光客のニーズに即した駐車場情報等の提供に努める。観光対象でもある万葉線を活用したパークアンドライドについても検討する。

- ・ドライブ雑誌への掲載 平成 26～28 年 北陸ドライブ
- ・射水市グルメ&観光 MAP の製作
- ・旧新湊勤労青少年ホーム跡地（奈古町）に駐車場整備（平成 26 年）